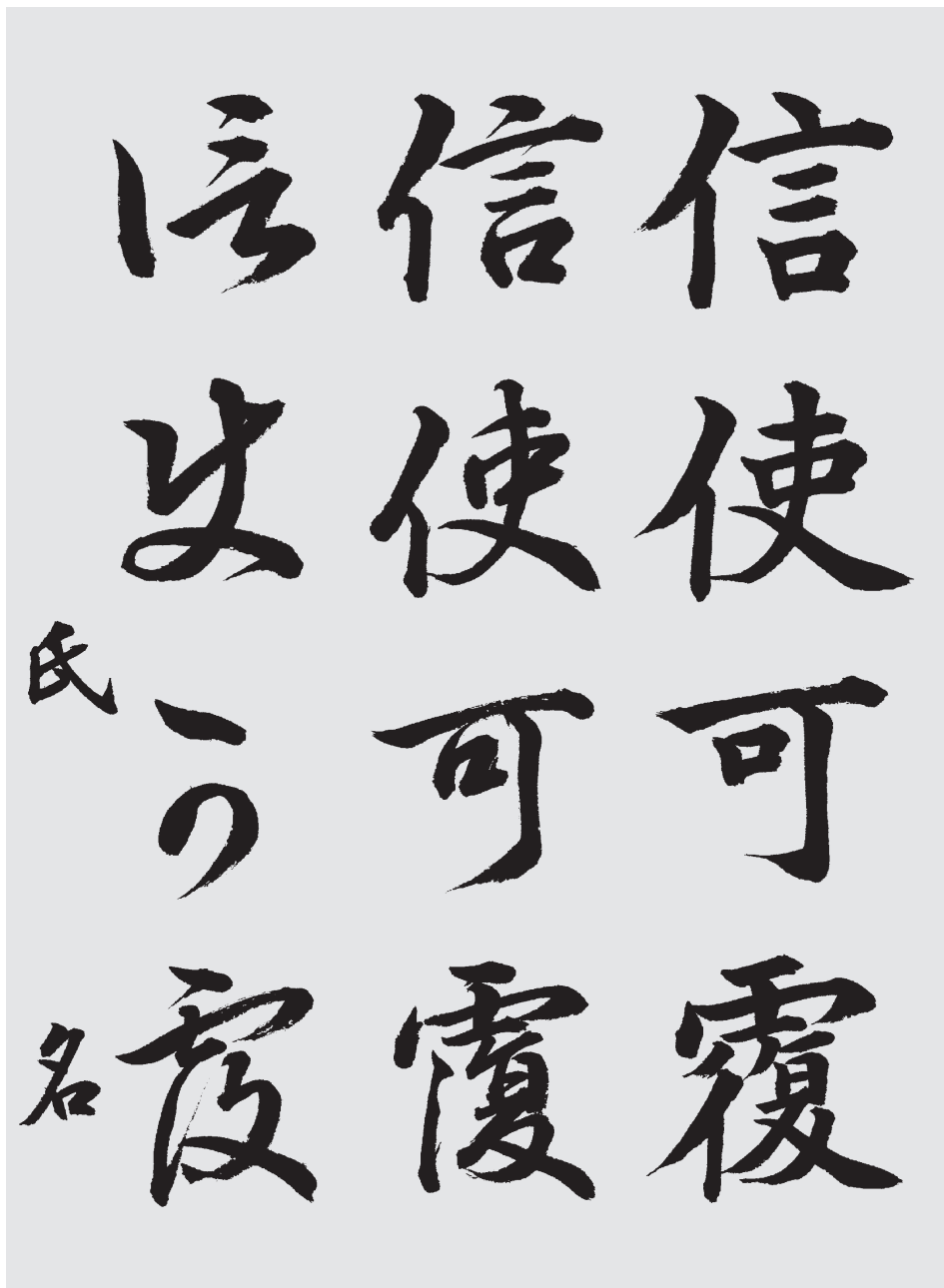


三体千字文を書く (47)

締切り 十一月二十二日 (必着)



奥村 憲 照 先生 書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

信使可覆

器欲難量

約束は必ず実行するよつに。

いかなる難事にあっても、よく適応する器量をもちたいものである。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕 幸せを願うなら まず学べ 苦しむ術を ツルゲーネフ

リズムよく

中心の取り方に注意 軽く

中心移動

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

お尾 郷 翠 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

ふる た ずい えん 古 田 瑞 苑 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆12月課題予告(楷書)
 - 夕日の夢
 - 星の希望
 - 夜明けのあこがれ
- ▼教範・書範Ⅱ行草または草書
- ▼師範Ⅱ行書

★幸せを：(書体Ⅱ行草または草書)
ツルゲーネフ(一八一八〜一八八三)
ロシアの作家

この文の前に「安らかならんと願うなら、交際するとも独りで生きよ。何事もくわだてず、一物たりとも惜しむな」とあります。

人間は結局、交際相手に心の平安を求めても本物の安らかさを得られるものではなく、孤独にあつてこそ初めて真の人間の自立心とそれからもたらされる心の平穏をつかむことができるのです。何事にも素直に生きることの大切さと幸福を得るには苦勞なしでは得られないことを述べています。

◆12月課題予告(行書)

この一日は 惜しむべき 重宝なり

★一つあれば：(書体Ⅱ楷書)
種田山頭火(一八八二〜一九四〇)
俳人

物のありあまる現代、金さえあれば欲しい物が手に入り、働いて月賦で余分なものまで買って、あげくはあまり使うことなく処分になり果てる、といった例を見聞きすることがしばしばです。

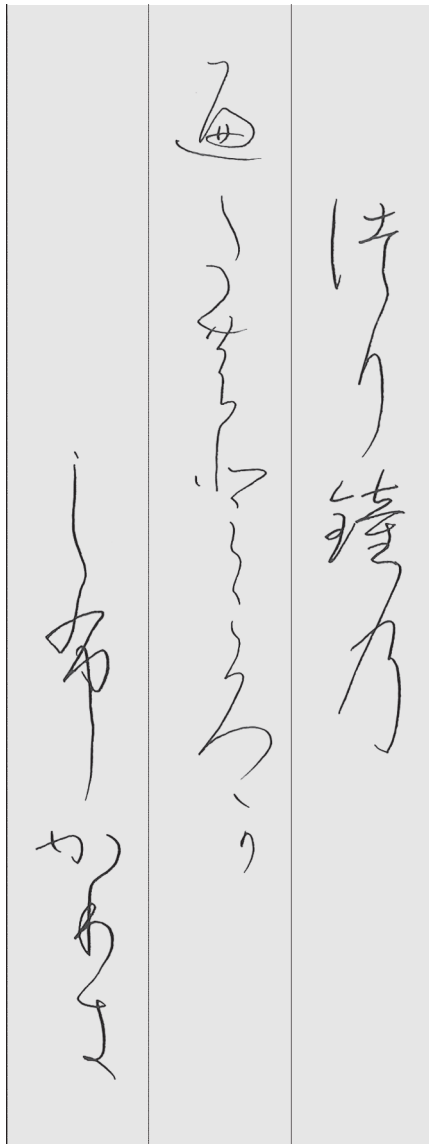
この句は、鍋は一つあれば飯も炊け、菜も煮ることができるといふ意ですが、余分なことに欲を出さなかった山頭火の美しい心が伝わってきます。

飽食時代ということばのむなしさがこの句から痛感させられます。

準初段から六段まで

新入から1級まで

徒乃遍多農登可利文
つり鐘の帯のところが洪かりき

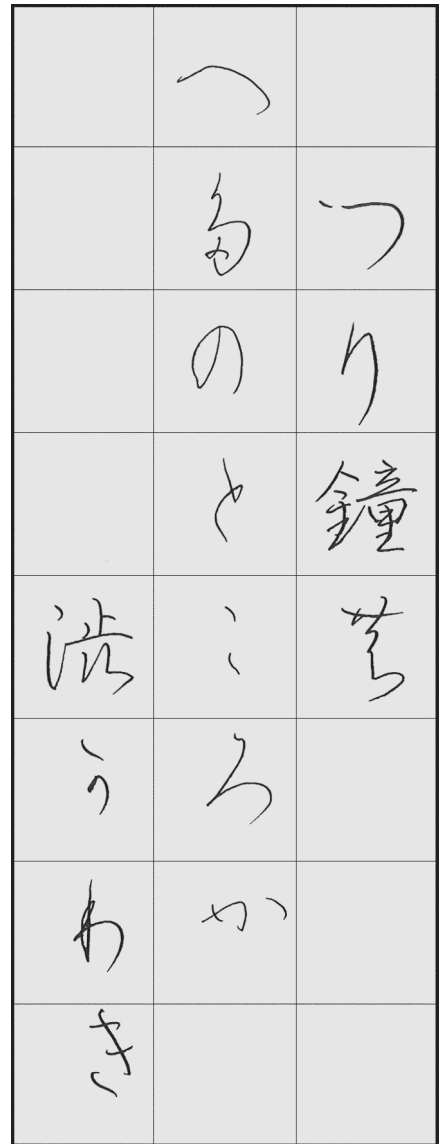


田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

川(州)農へ多可利
つり鐘の帯のところが洪かりき



田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

つり鐘の帯のところが洪かりき
(正岡子規)

〔句解〕柿はなによりも好きだ。京都の歌僧愚庵が「つりがね」という珍しい名の柿をくれ、早速食べた。帯のところが洪く、うまかった。

〔鑑賞〕「つりがね」といふ柿をもらひて」と前書がつき、『俳句稿』明治三〇年秋の条にみえる。同年の『病牀手記』にはこの句を頭に十一句書かれ、桂湖村京都より帰る。愚庵の柿(つりがね)十五顆及び松茸を携へて来るの一文が出る。愚庵は湖村宛に「正岡は柿の实のあまきともいはずしぶきとも言はず」の一首を寄せた。その返札に贈ったのがこの句である。

〔古筆参考〕

川(州) 川川川川
農の 若若若若
遍へ 通通通通
多た 多々多々
布ふ 布布布布

〔解説〕段の作品の二行目は、連綿を使って流れるように書いて下さい。

◆12月課題予告

初冬の竹緑なり詩仙堂

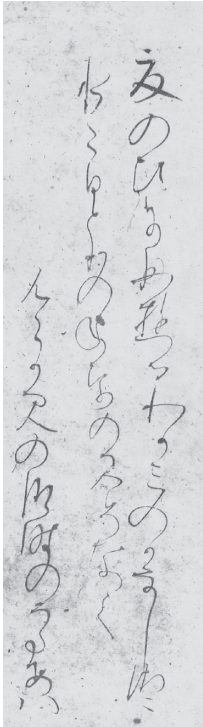
(内藤鳴雪)

締切り 十一月二十二日 (必着)

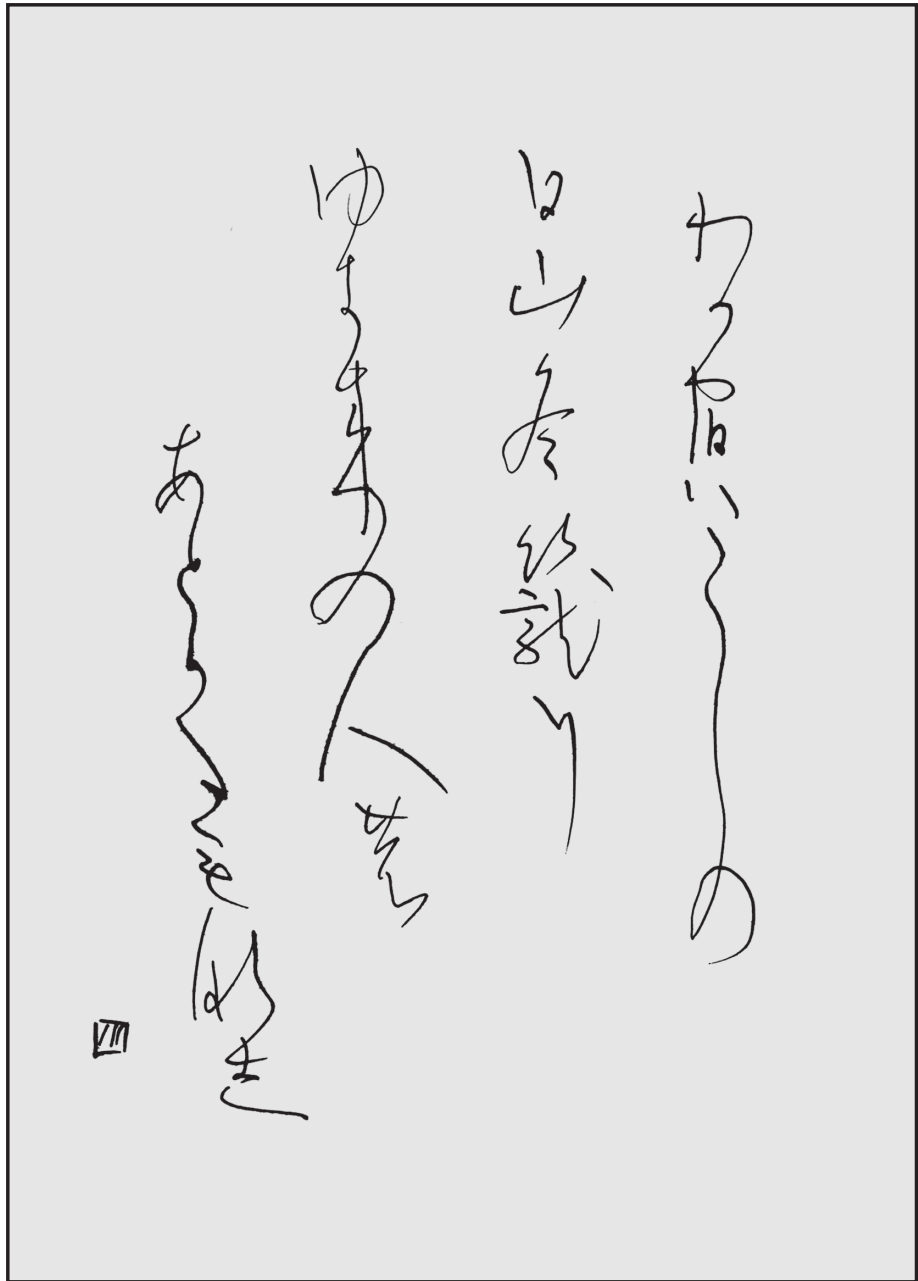
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

香紙切



夏ハのニひハにもハゆるハわカみノかなシさに
水ミこヒどリのネをノみゾなく
むラかミのミ御ノ時ノうタあハ



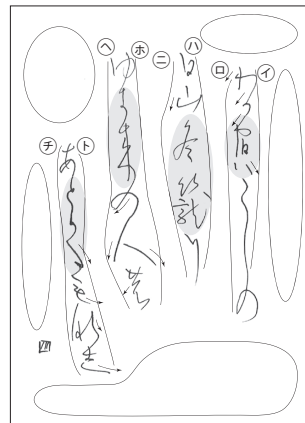
わが宿は越ハの白山冬籠り
ゆキきノ人ノあトかタもナし

〔歌意〕夜も漸く寒くなって来たので
門近くの田の畔に宿っている鴨もまん
じりと寝られない頃となった。

〔出典〕近世和歌集

(日本古典文学大系)

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、②と③、②と④、②と⑤、②と⑥、②と⑦、②と⑧、②と⑨、②と⑩、③と④、③と⑤、③と⑥、③と⑦、③と⑧、③と⑨、③と⑩、④と⑤、④と⑥、④と⑦、④と⑧、④と⑨、④と⑩、⑤と⑥、⑤と⑦、⑤と⑧、⑤と⑨、⑤と⑩、⑥と⑦、⑥と⑧、⑥と⑨、⑥と⑩、⑦と⑧、⑦と⑨、⑦と⑩、⑧と⑨、⑧と⑩、⑨と⑩、それぞれ呼応。
- 余白大切。
- ・行のポイント大切。
- ・行のゆれ大切。

◆12月課題予告

さよふけて岩間の瀧つおとせぬは
高嶺のみ雪降り積もるらし

締切り 11月22日(必着)

気がつけば日脚もめっきり短くなり、冬の到来を実感しています。もうストーブやら、こたつやらの出番です。これから寒さに向かいますが、くれぐれもお風邪など召されませんようご自愛專一に。

気がつけば日脚もめっきり短くなり、冬の到来を実感しています。もうストーブやら、こたつやらの出番です。これから寒さに向かいますが、くれぐれもお風邪など召されませんようご自愛專一に。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか しま けい せん 書
岡 嶋 桂 川

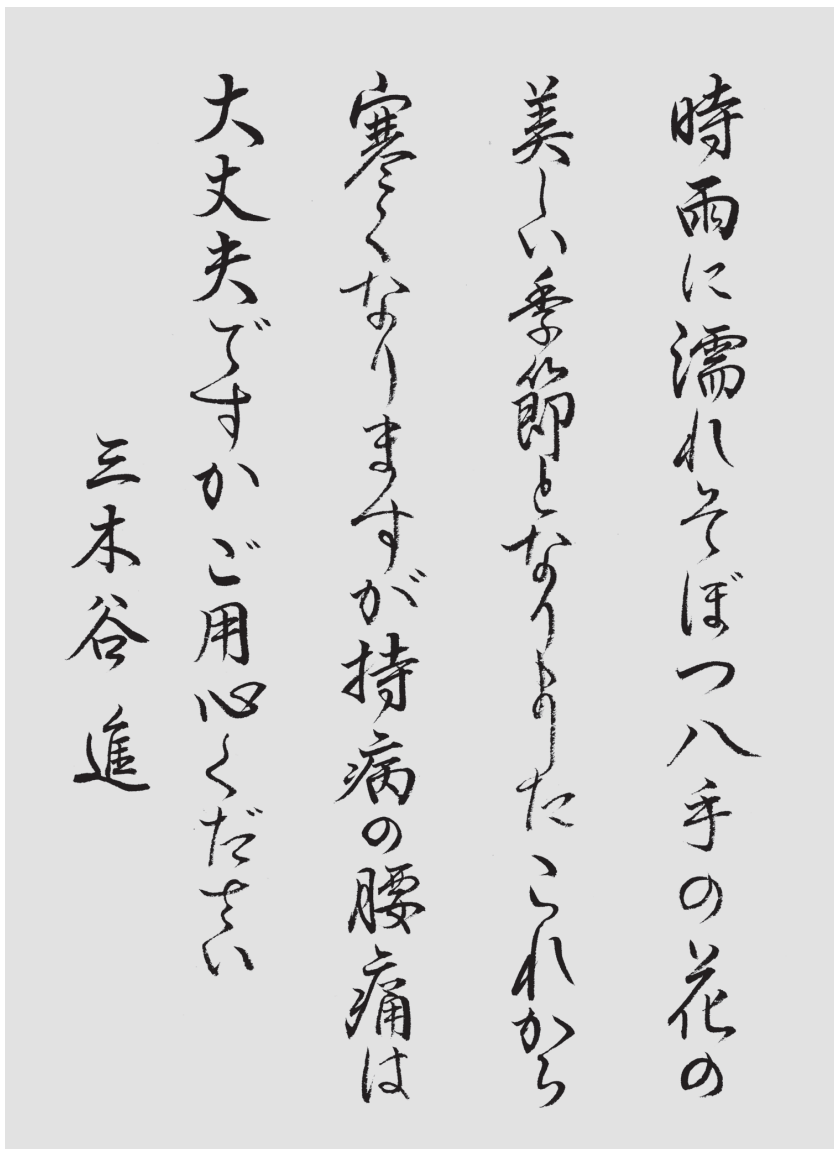
書道において素直で飾り気がなく
素朴な味わいを「古意」という。

栃木県佐野市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

伊藤梅香 書



締切り 十一月二十二日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

新井龍峰先生書

夕陽千樹鳥聲寂

涼月一庭花影深

李絨

〔大意〕多くの木にみちた夕日の影に鳴く鳥の声はさびしく、庭一杯にさす月の影は涼しく花影は深い。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕

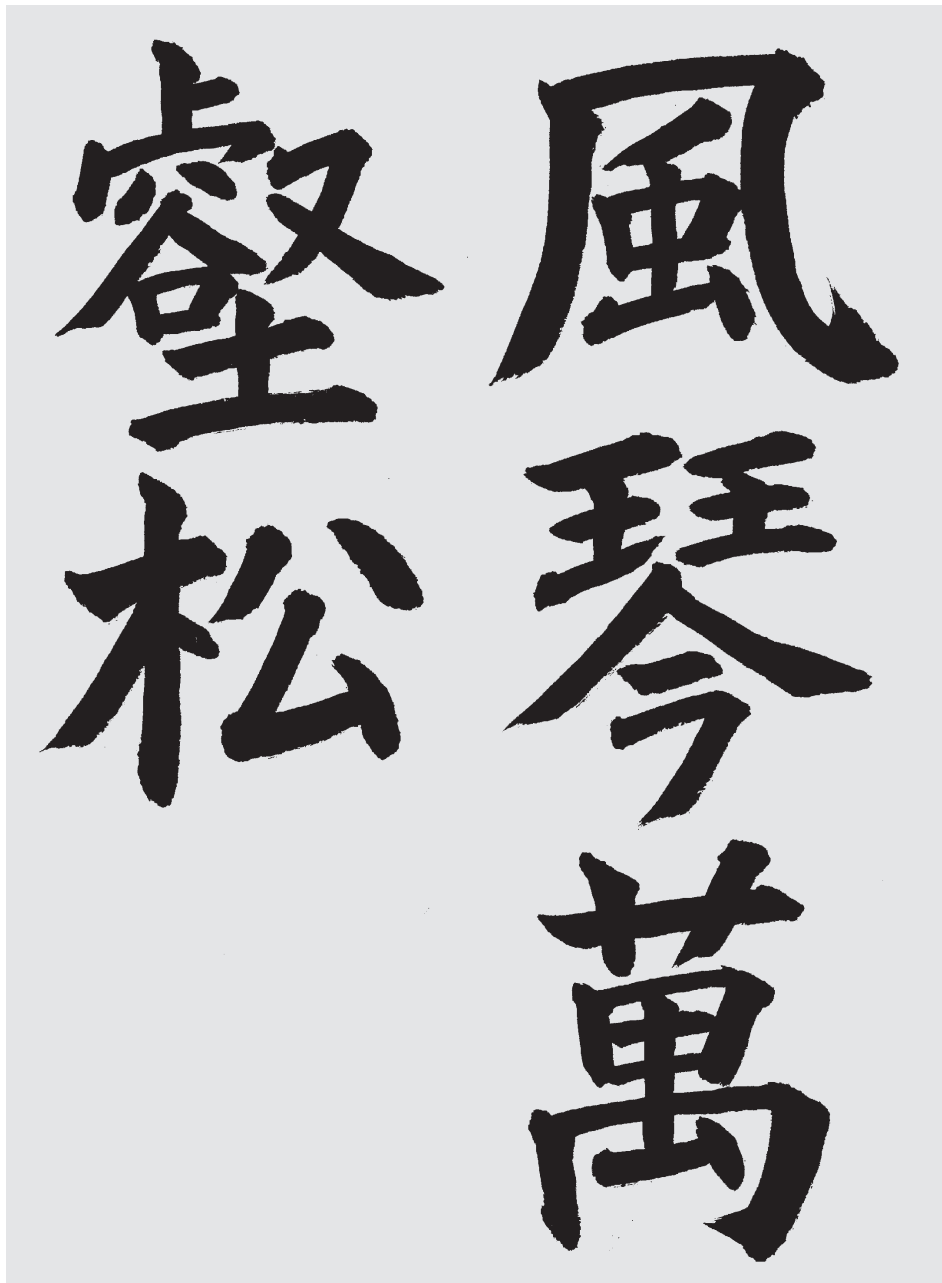
今月より条幅担当を仰せつかりましたが、こんな手本でよいのだろうか？ 来月から、もがきながら苦しみながら、これでよいのだろうか？ と自問自答しながら続けて行く所存です。何卒、ご指導のほどお願い致します。

時・雨に濡れそぼつ八手の花の
美しい季節となりました。これから
寒くなりますが持病の腰痛は
大丈夫ですか。ご用心ください。
(ご自分の氏名)
・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(楷書)

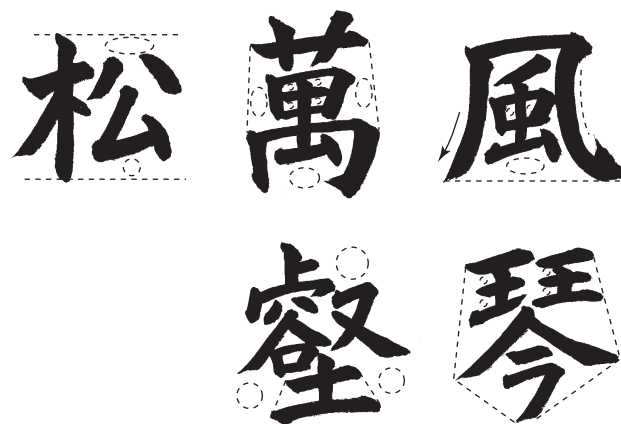


清水翠芳書

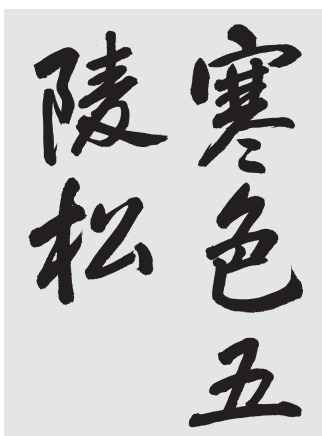
風琴壑松

〔大意〕風がかなでる琴の音は、多くの谷の松を吹いて生ずる。

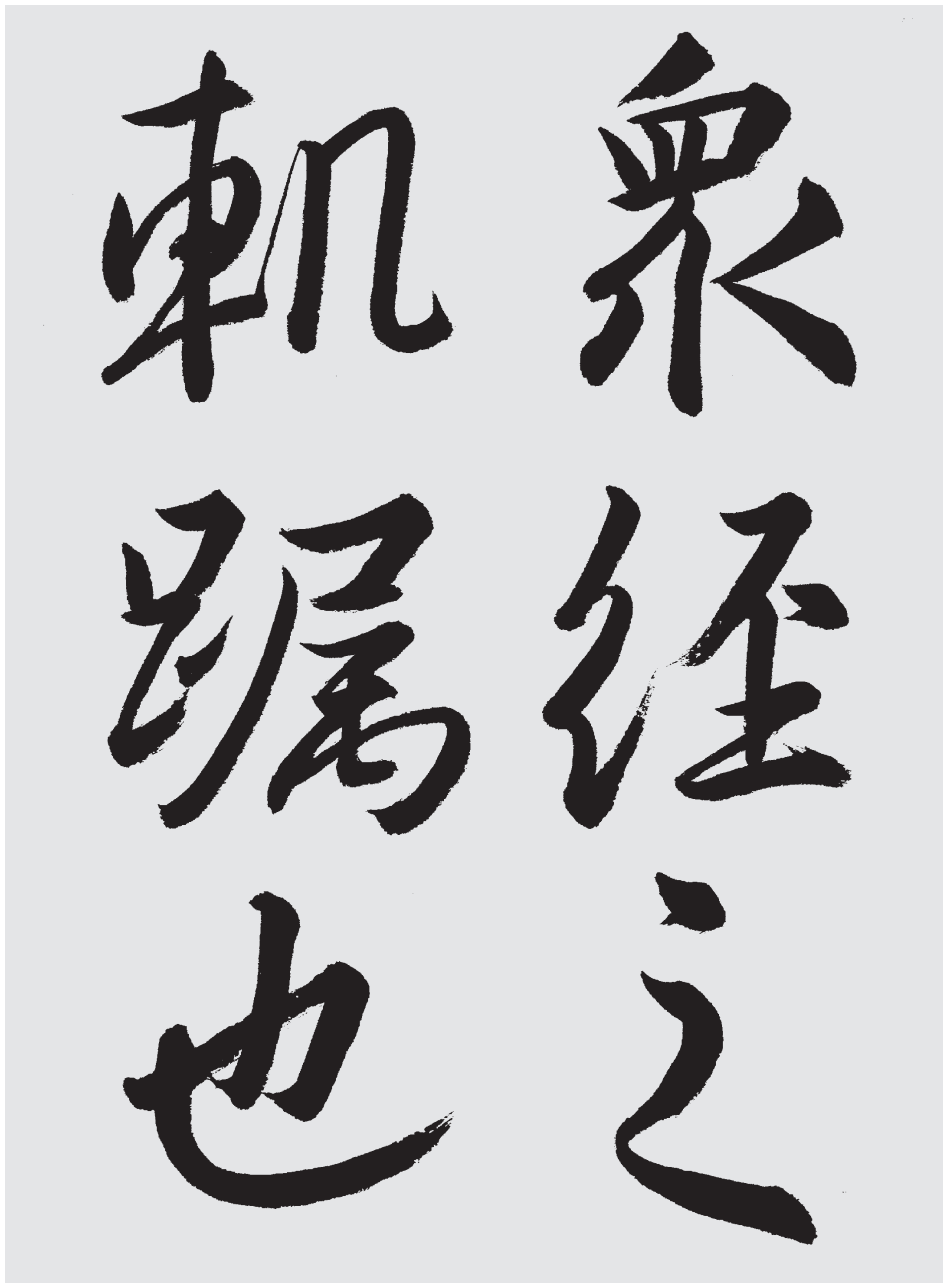
〔解説〕



◆12月課題予告(行書)

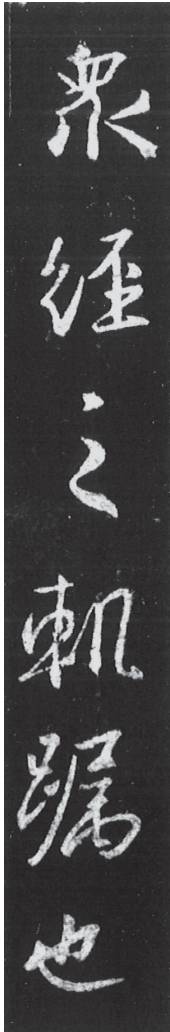


準初段から師範まで



須田一葉臨

衆
經
之
軌
躅
也

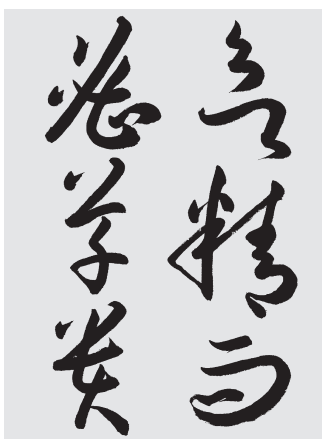


〔出典〕 集字聖教序(六七二)
 〔筆者〕 王羲之法書より集字
 〔読み〕 衆經の軌躅也。

〔解説〕

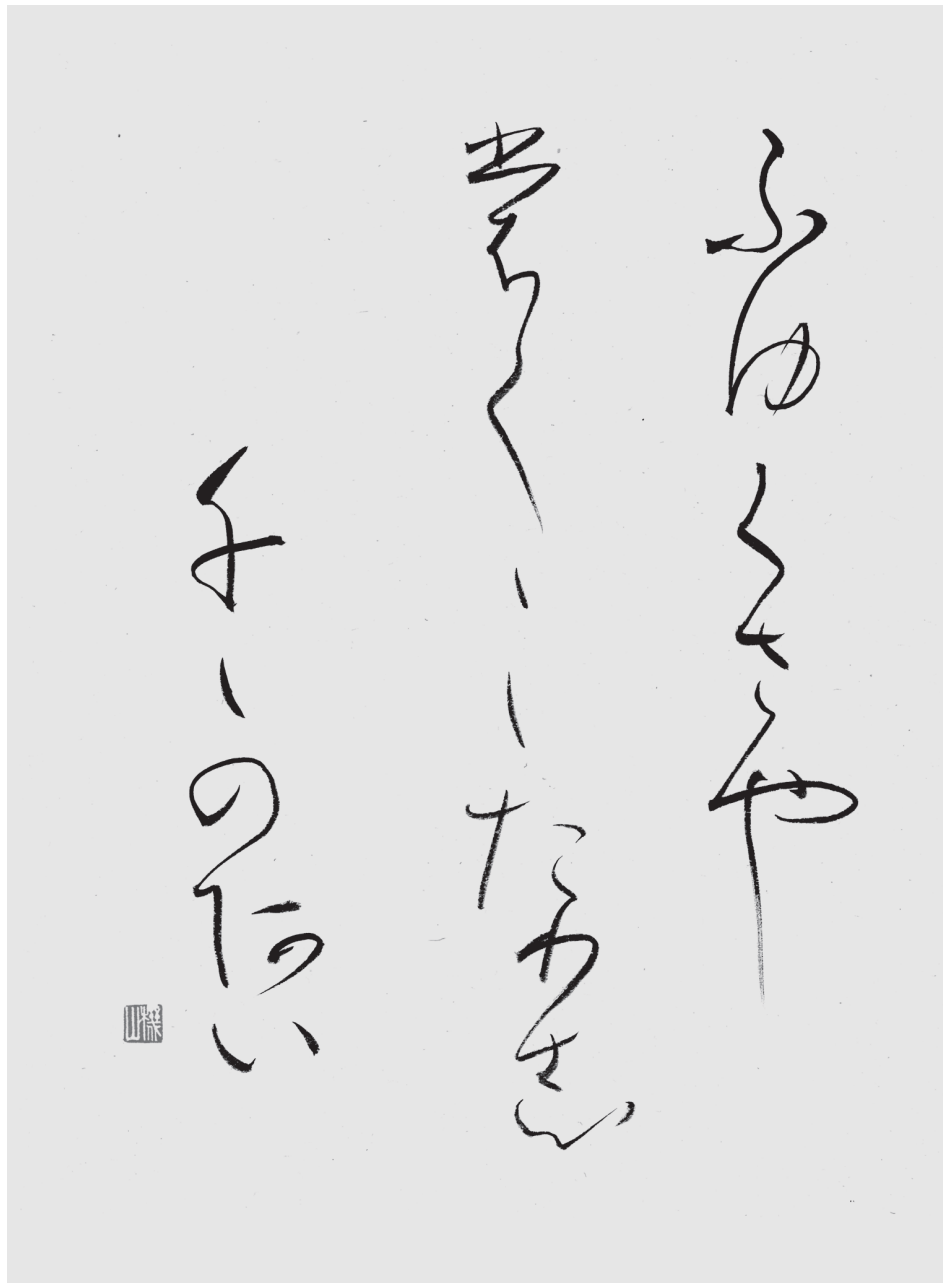


◆12月課題予告
 ※文献によって字体が異なる場合があります。



新入から1級まで

浅井機山先生書



ふゆくさ 冬草や
 黙々たりし父の愛

とみやす ふせい
 富安風生

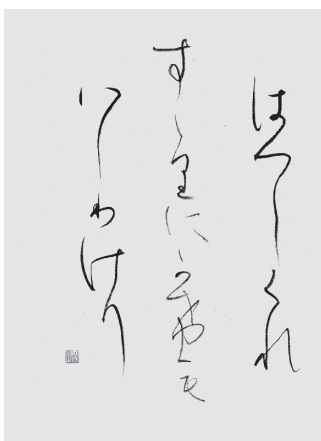
〔句意〕

冬景色の中なお緑の残る冬草の姿は、見る人の目をなぐさめてくれる。その冬草に亡き父の物静かな存在をしみじみと思いやった句。

〔古筆参考〕

裳も 常 悉 名 志
 利 り 阿 阿 阿 阿 阿
 志 し 志 し 志 し 志 し
 阿 あ 阿 阿 阿 阿

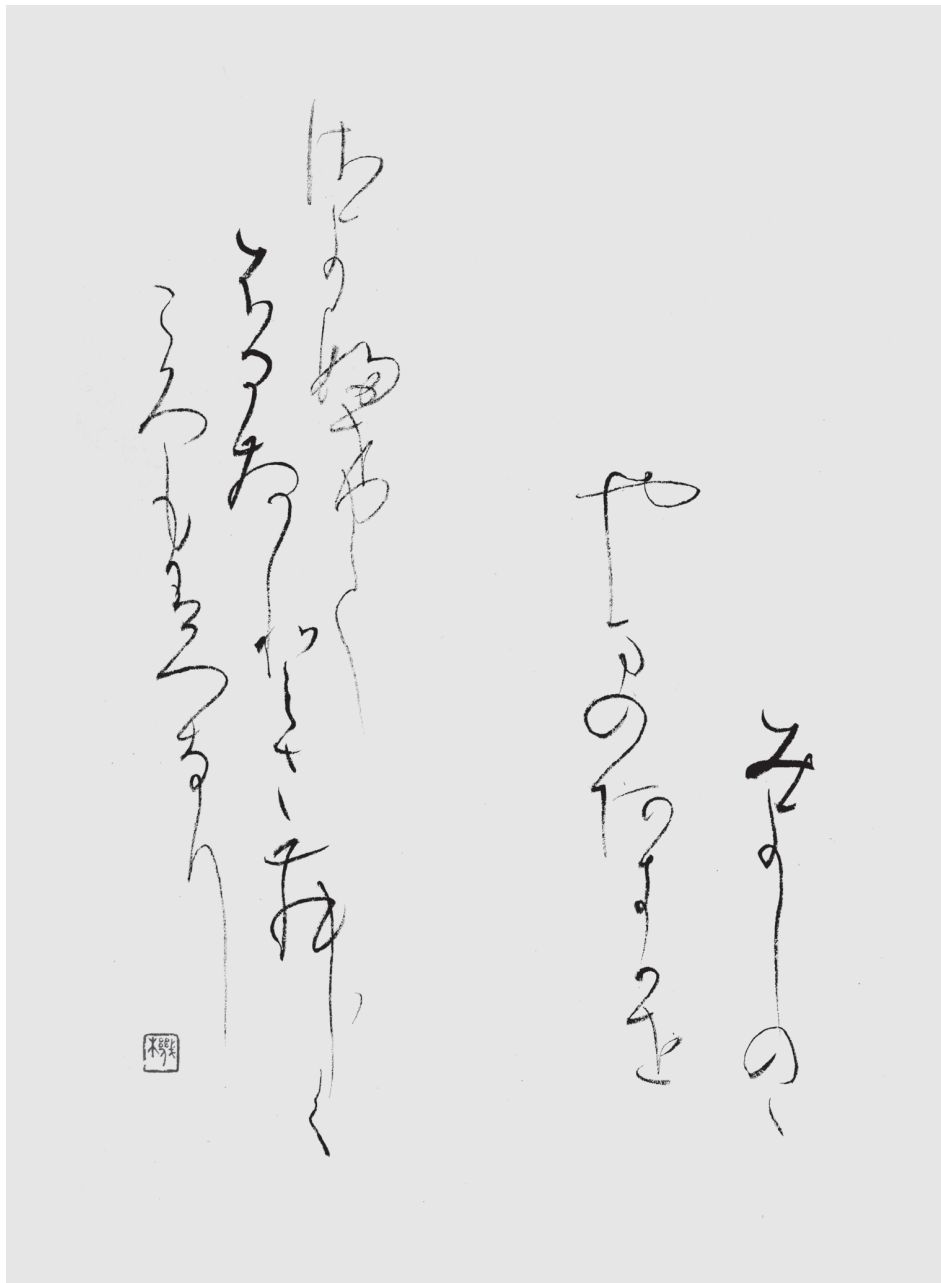
◆12月課題予告



はつしぐれすずり
 初時雨碗に影も走りけり

準初段から師範まで

浅井機山先生書



よしの、や万 阿支可世佐よ 婦希弓
み吉野の山の秋風さ夜ふけて

不登 舞 ころも有 奈
故里さむく衣うつなり

藤原雅経

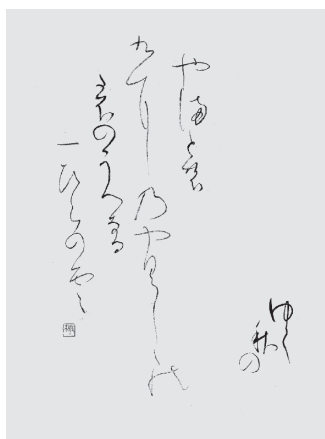
〔歌意〕

吉野の山から吹く秋風は、夜が更けて麓の
故里は寒く、衣を打つ音が聞こえる。

〔古筆参考〕

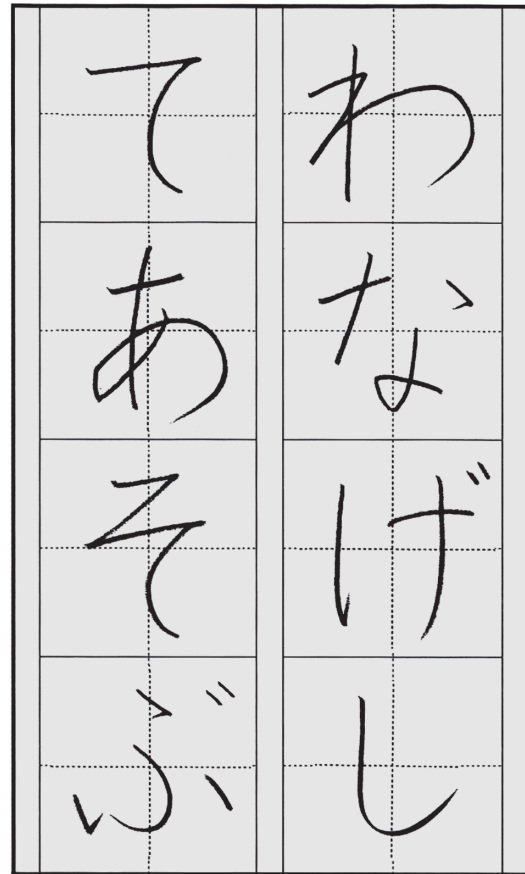
有う 登と 散さ 弓て 婦ふ 佐さ
有う 登と 散さ 弓て 婦ふ 佐さ
有う 登と 散さ 弓て 婦ふ 佐さ
有う 登と 散さ 弓て 婦ふ 佐さ

◆12月課題予告



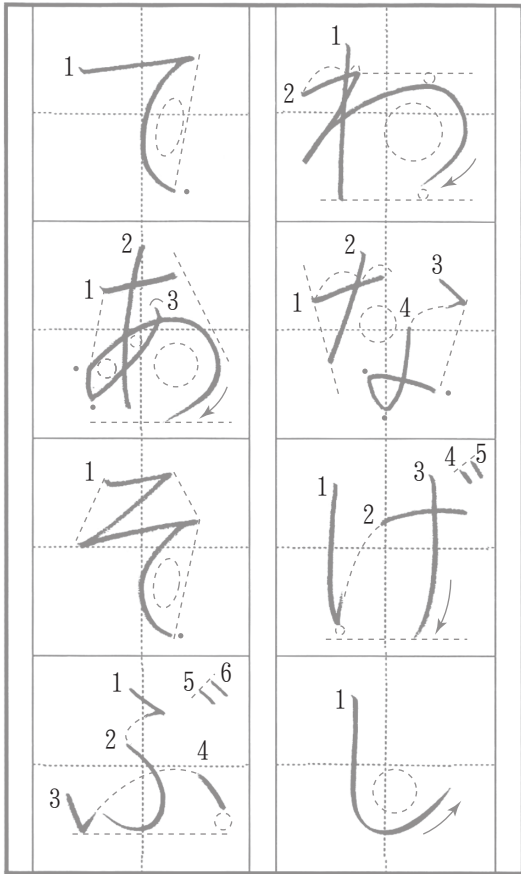
ゆく秋の大和の国の薬師寺の
塔の上なる一ひらの雲

よ
う
年



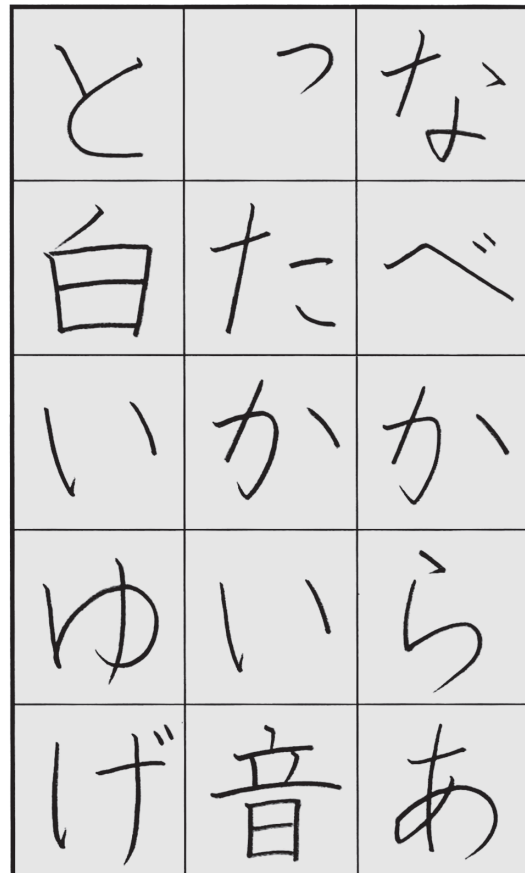
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

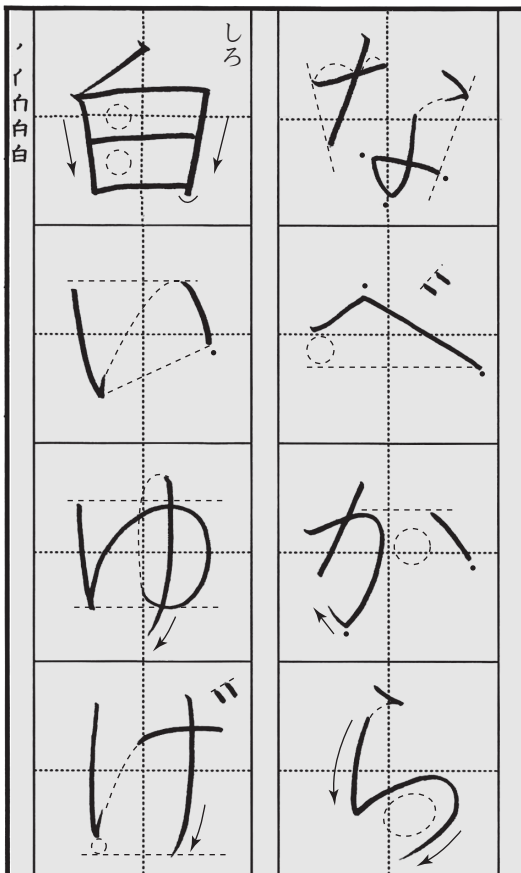
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新
入
〜
1
級



幼
年
〜
小
三
年
ま
で
三
宅
容
玉
書

小二年

つ	れ	八
て	た	月
も	弟	に
元	は	う
気	と	ま

準初段以上

小三年

教	り	お
わ	方	手
り	を	玉
遊	姉	の
ぶ	に	作

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

ま	ハチ
れ	ガツ
た	に
弟	う

新入〜1級

わ	作
遊	方
ぶ	教

新入〜1級

小四年

地	本	昨
的	海	夜
な	側	か
大	で	ら
雨	局	日

準初段以上

新入1級

一 十 才 木 本	ホ ン 一 才 才 木 本 夜	よ る 夜
シ シ 江 海 海	カ イ 海	か
イ 伊 伊 伊 側	が わ 側	ら
	日 日 日	に 日

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

と	作	小
ん	る	麦
は	母	粉
絶	の	か
品	う	ら

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

く く く く 母	は は 母	こ 小
糸 糸 糸 糸 絶	ゼ ッ 絶	む ぎ 麦
ロ ロ ロ ロ 品	ピ ン 品	こ 粉
	イ イ イ イ 作	つく く 作

小四年以上
前
嶋
玉
華
書

小六年

人	い	晩
で	は	の
手	妹	食
伝	と	器
う	二	洗

(全員)

※二人＝単語としてこのように読みます。

解説(よく見て習いましょう)

妹	晩
人	食
手	器
伝	洗

〈用具 自由(黒色に限る)〉

中一年

の	狩	翌
た	り	日
め	は	の
延	雨	紅
期	天	葉

(楷書)

※紅葉＝単語としてこのように読みます。

中二・三年 (楷書)

公	管	文
演	弦	化
を	楽	会
す	団	館
る	が	で

▼小三年以下の課題 なが い や え こ 長 井 八重子 書

父 <small>ちち</small>	落 <small>おち</small> 葉 <small>ば</small>	い	も	イ
と	葉 <small>ば</small> を	ろ	み	チ
お	集 <small>あつ</small> め	と	じ	ヨ
さ	な	り	の	ウ
ん	が	ど	赤 <small>あか</small>	の
ほ	ら	り	色 <small>いろ</small>	黄 <small>き</small> 色 <small>いろ</small>

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 11月22日 (必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 よこ やま ゆう れん 横 山 友 漣 書

絵 <small>かい</small>	晚 <small>ばん</small>	母 <small>はは</small>	一 <small>いち</small>	真 <small>ま</small>
画 <small>が</small>	秋 <small>しゅう</small>	と	面 <small>めん</small>	っ
の	の	歩 <small>ある</small>	の	赤 <small>か</small>
様 <small>よう</small>	京 <small>きょう</small>	く	敷 <small>し</small>	に
で	都 <small>と</small>		き	染 <small>そ</small>
す	は		も	ま
			み	っ
			じ	た

◎お手本はつけペン使用



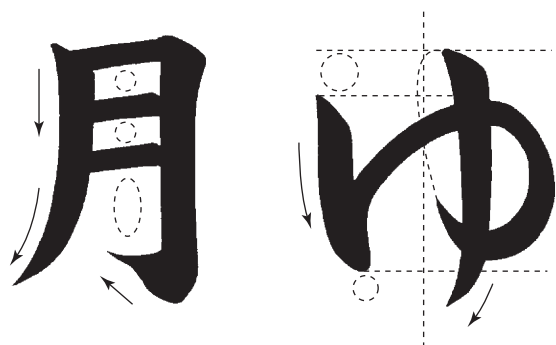
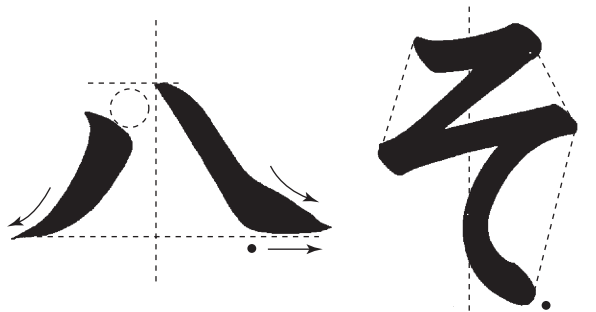
◇作品の出し方

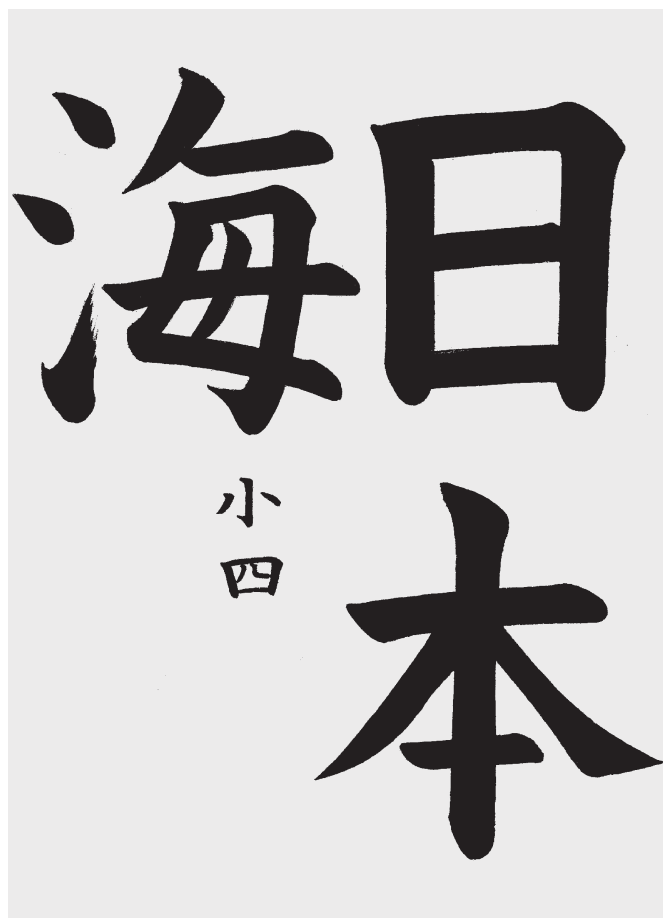
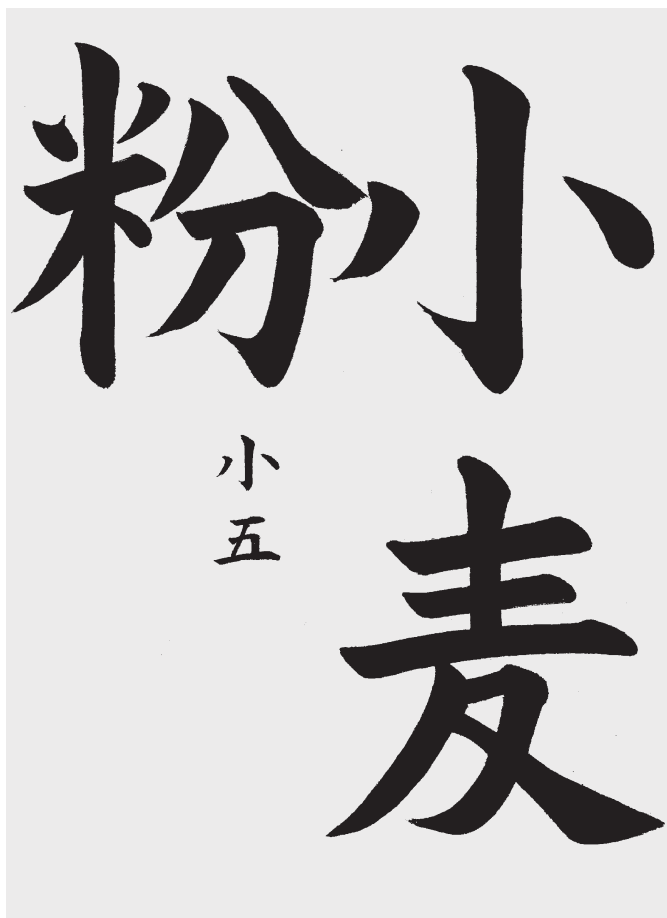
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年
酒井智仔書





小三〜小五年

水野碧友書

中三 樂管

小六 洗食

團弦

い器

小六〜中二・三年

永谷恵子書

期

器

管

洗

弦

延

中一 延雨

期天

第127回 硬筆検定試験受験要項

11月22日締切り

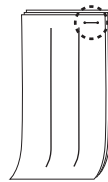
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスですべて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題(小一から)⑤小論文⑥書歴(初回のみ)。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップとして下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和六年十一月二十二日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和七年二月号

▼肉筆手本希望者は、ご希望の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、「コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

一般部三段コースまで(規定・かな) … 一、二〇〇円

規定 … 一、四〇〇円

はがき・かな … 二、〇〇〇円

教育部 … 八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	下掲課題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,100

▶かな……田中貴光書

▶規定……奥村憲照先生書

課題(ロ)
段位用紙

課題(イ)
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行書》
段位用紙

《楷書》
段位用紙

日のさすや杉間に見ゆるからす瓜(市原たよ女)

杉間——と好る

之好る所

寸	
寸	日
寸	の
寸	は
寸	に
寸	や
寸	
寸	
瓜	

美しい笑いは

家の中の

太陽である

美——い笑いは

家の中の

太陽である

美しい笑いは

家の中の

太陽である

◎1級コースは級位(マス目)用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

コース	課題	受験資格	最高昇級段位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
					楷書	行書	草書				
一般部	書範コース	・有段者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	3,000
	教範コース	・書範 ・支局・支部長	教範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,200
教育部	普通コース			11月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由						1	420
	会友コース	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生		11月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由						2	740

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すでに
単位を取得されていても、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

規定

両コース共通

書範・教範コース課題

楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

中途にして怠れば

前功を失い

未熟にかえる

かな

書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

花すゝき又露ふかしほに出でて
ながめじとおもふ秋のさかりを(式子内親王)

はがき

両コース共通

めつきり秋が深まってきました。
幼い頃よく一緒に登った裏庭の
柿の太木が、近年になく大豊作と
なりました。思い出の香りを包み
少しばかりお送りします。お正月
にはぜひお会いしたいものです。

(はがき用紙使用)

教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具＝えんぴつ

小 1
森 や 林 の
木 を き る

用具＝えんぴつ

小 3
休 日 の 遊 園
地 は 人 で こ
み 合 い ま す

用具＝鉛筆以外

小 4
父 は 妹 と
散 歩 中 だ

用具＝鉛筆以外

中 3
小 説 の 構 成
心 は 発 端 中
・ 結 末 だ

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。

(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題

教範コースのみ

▼題名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚
左の活字課題の行書一枚
計一枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

バザーは門
前市をなす
ほどの盛況

(行書)

第87回 毛筆検定試験受験要項

12月19日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いいたします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和六年十二月十九日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和七年三月号

▼肉筆手本希望者は、ご希望の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

漢字半紙 …… 一、二〇〇円
細字・かな …… 一、八〇〇円

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

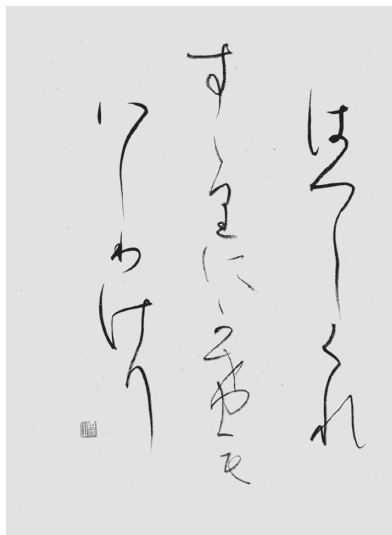
漢字半紙 …… 一、二〇〇円
細字半紙 …… 一、四〇〇円
条幅 …… 三、八〇〇円
細字 …… 二、〇〇〇円
教育部 …… 九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,100

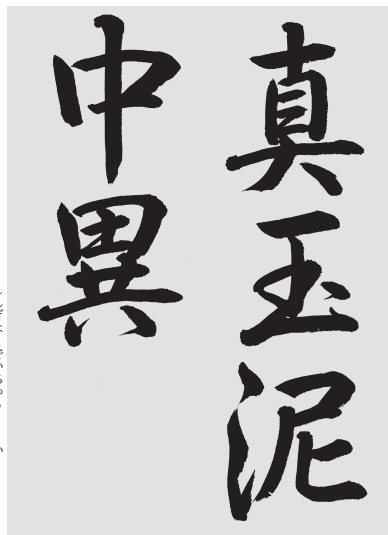
〔1級コース課題〕

《かな》



浅井機山先生書

《行書》



清水翠芳書

《楷書》



はつしくれすすり
初時雨硯に影も走りけり(加藤楸邨)

真玉泥中に異なり

コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教育部	普通コース	—	12月しめきりの月例競書課題									1	420
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

■五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

五段・書範・教範コース課題

漢字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑



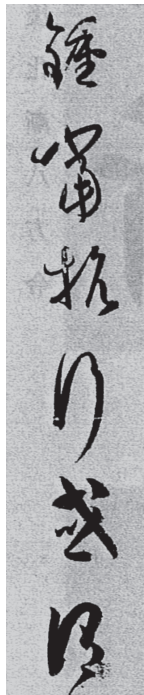
春而流惠澤然

▼集字聖教序



窺天鑑地庸愚

▼書譜



鍾當抗行或謂

■かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎ゆく秋の大和の国の薬師寺の
塔の上なる一ひらの雲(佐々木信綱)

※22頁参照

■条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

刺繡五紋添弱線
吹葭六瑄動飛灰

■細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下
さい。

壁に掛けたカレンダーもいよいよ
最後の一枚となりました。迎春の
お支度にお忙しい折、くれぐれも
お風邪など召されませんように

■教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小1 かめ
小6 火災
訓練

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

■会友コース課題

発音

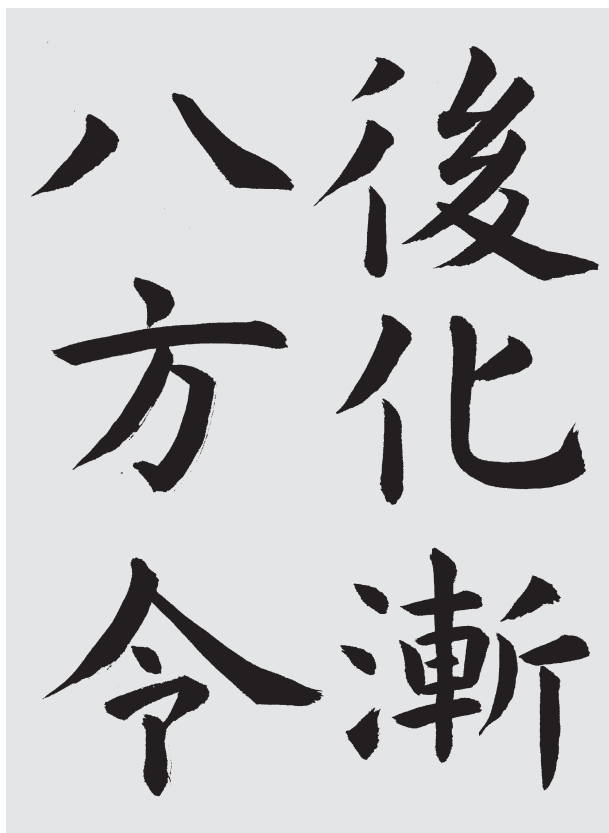
(行書)

▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》



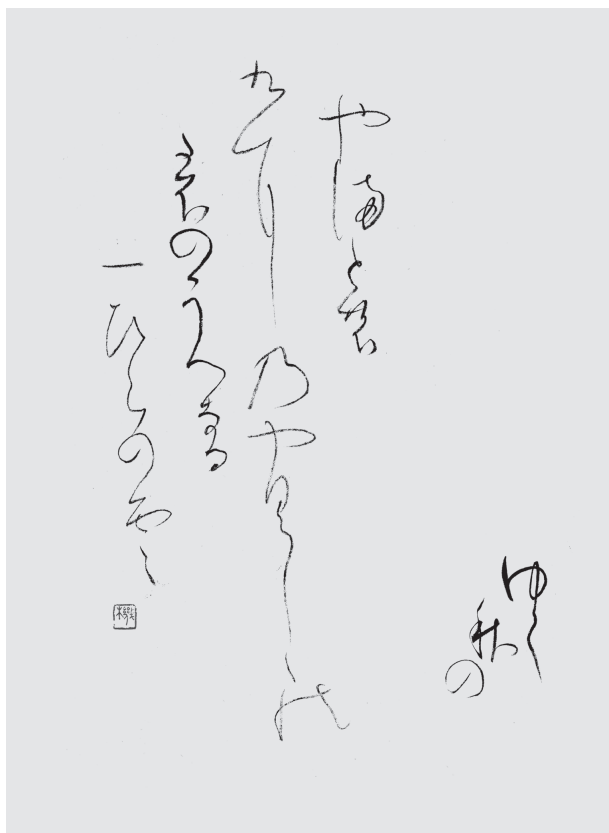
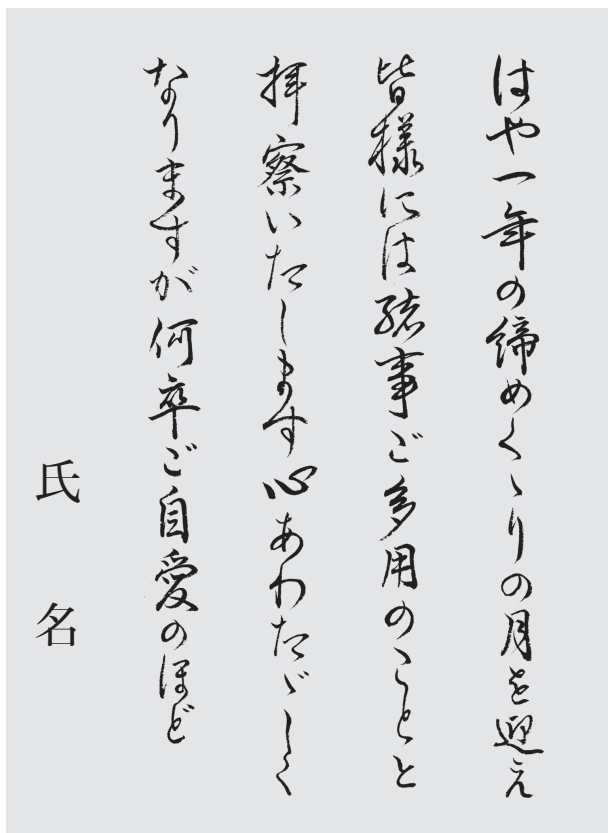
暑以化物是以

後化漸八方令

神谷葵水先生臨

《細字》

《かな》



氏名

ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なる一ひらの雲(佐々木信綱)

伊藤梅香書

浅井機山先生書

※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。